

# 目次



- 1.2025年12月期第3四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

# ポイント



### 増収増益【第3四半期(1-9月)、前年同期比】 引き続き国内大幅増収、海外も堅調維持し増収

国内売上高 : 米価上昇を背景とした農家の購買意欲の高まりを捉え、大幅増収

海外売上高・・・・北米市場の弱含みによる減収を欧州・アジアでカバーし、増収基調維持

営業利益 : 国内外の増収および過年度値上効果で増益

四半期純利益 : 固定資産売却、前年の構造改革に伴う減損損失がなくなったこともあり大幅増益

プロジェクトZ : 当期発現効果は計画通り

### 通期業績予想は、再度上方修正、増配

業績予想 : 売上高 1,810億円 (+55億円)

(8/8予想比) 営業利益 40億円 (+ 5億円)

当期純利益 23億円 (+ 5億円)

配当予想 : 1株あたり 40円 (2/14公表予想から+10円増配)



- 1.2025年12月期第3四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

# 連結業績の概要

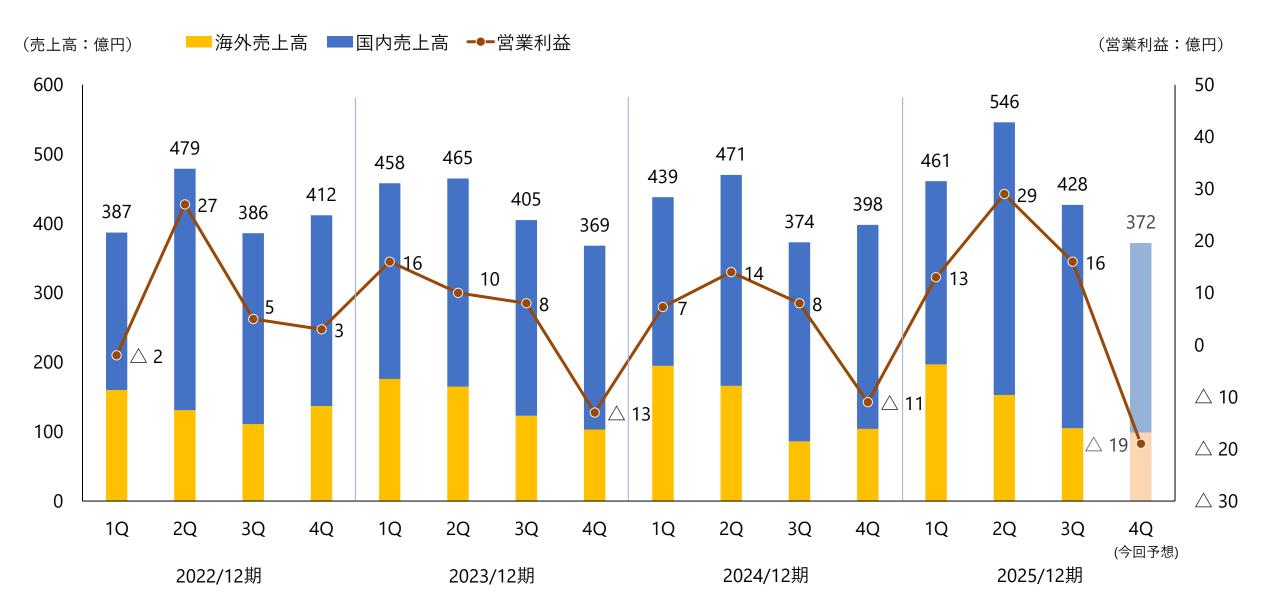


	(単位:億円、%) (2025年1月1日~ 2025年9月30日)		22/12期	23/12期	24/12期	25/12期	
			3Q実績	3Q実績	3Q実績	3Q実績	前年同期比
	売上高	<u>.</u>	1,253	1,329	1,285	1,437	+ 151
	(□	国内)	850	865	836	981	+ 144
	(注	 <del></del> 	402	464	449	455	+ 6
	売上総利益		372	398	388	431	+ 42
	売上総利益率		29.7%	30.0%	30.3%	30.0%	△ 0.3%
	営業利益		31	36	31	59	+ 28
	営業利益率		2.5%	2.7%	2.4%	4.2%	+ 1.8%
	経常利	益	38	38	29	53	+ 24
	親会社株主に帰属する 四半期純利益		34	20	△ 5	41	+ 46
為	* 替平均	米ドル	126.0	137.6	150.5	148.9	△ 1.6
1	アート(円)	ユーロ	141.4	157.4	159.7	165.4	+ 5.7

<sup>\*2025</sup>年から在外子会社のPL換算レートを期中平均レートに変更しています。(従前は各期末レート)

# 連結業績の推移(四半期別)





# 国内売上高



	(単位:億円、%) (2025年1月1日~ 2025年9月30日)			22/12期	23/12期	24/12期	25/12期		
				3Q実績	3Q実績	3Q実績	3Q実績	前年 同期比	
	農	整	<u> </u>	機	181	170	160	185	+ 25
	機		<b>治</b> 培	機	65	59	51	65	+ 13
ı ı	製製		双穫調	製 機	114	113	111	141	+ 30
唐			小言	+	361	344	323	393	+ 69
月		剖	3	品	119	123	127	133	+ 6
追	<i>†</i>	ァ テ ナ **		入	44	45	46	50	+ 3
	ンス		小言	+	163	169	173	183	+ 9
		亻	下業 機		152	154	157	208	+ 50
		Ī	H		677	667	655	785	+ 130
	7	施 設	工事		32	48	28	52	+ 24
	その他農業関連		140	148	153	143	△ 9		
	合 計			850	865	836	981	+ 144	
	メン	テナン	ス収入比率		19.2%	19.6%	20.8%	18.7%	△ <b>2.1</b> %

#### 主な増減要因(前年同期比)

# ・米価上昇を背景とした農家の購買意欲の高まりを捉える

農機製品:7月価格改定に伴い一時的に減少

(契約) 9月には前年レベルまで回復

作業機・メンテナンス収入

:安定収益源として、堅調に増加

施設工事:大型物件の複数完工があり、増収

#### ▶ (参考) 当社農機製品価格改定

時期	値上げ幅
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%
2025年7月	約7%

# 海外売上高



(単位:億円、%)	22/12期	23/12期	24/12期	25/12期	
(2025年1月1日~ 2025年9月30日)	3Q実績	3Q実績	3Q実績	3Q実績	前年 同期比
欧州	198	276	312	313	+ 1
北米	131	107	91	76	<b>△ 14</b>
アジア	67	70	40	62	+ 22
その他	5	10	5	3	△ 2
合 計	402	464	449	455	+ 6

海外売上高 比率	32.1%	34.9%	35.0%	31.7%	△3.3%
-------------	-------	-------	-------	-------	-------

#### 主な増減要因(前年同期比)

#### ・北米の減収を欧州、アジアでカバー

欧州:フランスの堅調継続、

イギリスPTC社連結化効果、

さらに為替円安影響もあり、

ドイツの仕入商品特需剥落をカバー

北米: コンパクトトラクタ市場は弱含み継続

当社売上高も減収

アジア: 主に韓国とインドネシアで増収

# 営業利益



・国内外の増収および過年度値上効果で増益

(単位:億円、%) (2025年1月1日~ 2025年9月30日)	24/12期 3Q実績	25/12期 3Q実績	前年同期比
売上高	1,285	1,437	+ 151
売上総利益	388	431	+ 42
売上総利益率	30.3%	30.0%	<b>△ 0.3%</b>
販管費	357	371	+ 13
人件費	202	211	+ 9
その他経費	155	159	+ 4
営業利益	31	59	+ 28
営業利益率	2.4%	4.2%	+ 1.8%





#### 【為替影響(損益影響、億円)】

売 上	原価	販管費	営業利益
+ 10	△ 7	△ 2	+ 1

【プロジェクト Z (損益影響、億円)】

営業利益	3Q実績	通期 見込み			
効果	+ 10	+15			
一時費用*	△ 6	△ 8			

<sup>\*</sup>生産移管費用、販社統合費用など

# 経常利益、四半期純利益



・ 純利益は今期の固定資産売却益と、前年の構造改革に伴う減損損失がなくなったこともあり大幅増益

(単位:億円) (2025年1月1日~ 2025年9月30日)	22/12期 3Q実績	23/12期 3Q実績	24/12期 3Q実績	25/12期 3Q実績	前年 同期比
営業利益	31	36	31	59	+ 28
金融収支	△ 5	△ 11	△ 10	△11	△ 0
その他営業外損益	12	14	8	5	△ 3
経常利益	38	38	29	53	+ 24
特別利益	8	0	0	11	+ 10
特別損失	△ 2	$\triangle$ 1	△ 23	△ <b>2</b>	+ 21
税前利益	44	37	6	62	+ 56
税、税調整額	△ 9	△ 16	△ 11	<b>△ 21</b>	<b>△ 10</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	20	△ 5	41	+ 46

#### 【その他営業外損益の主な増減内訳】

	その他営業外損益	
為替差益		△ 3億円

#### 【特別損益の主な増減内訳】

特別損益(プラスは収え	益好転)
固定資産売却益	+ 10億円
減損損失の減少 (前年は構造改革に伴い計上)	+ 21億円

# バランスシート



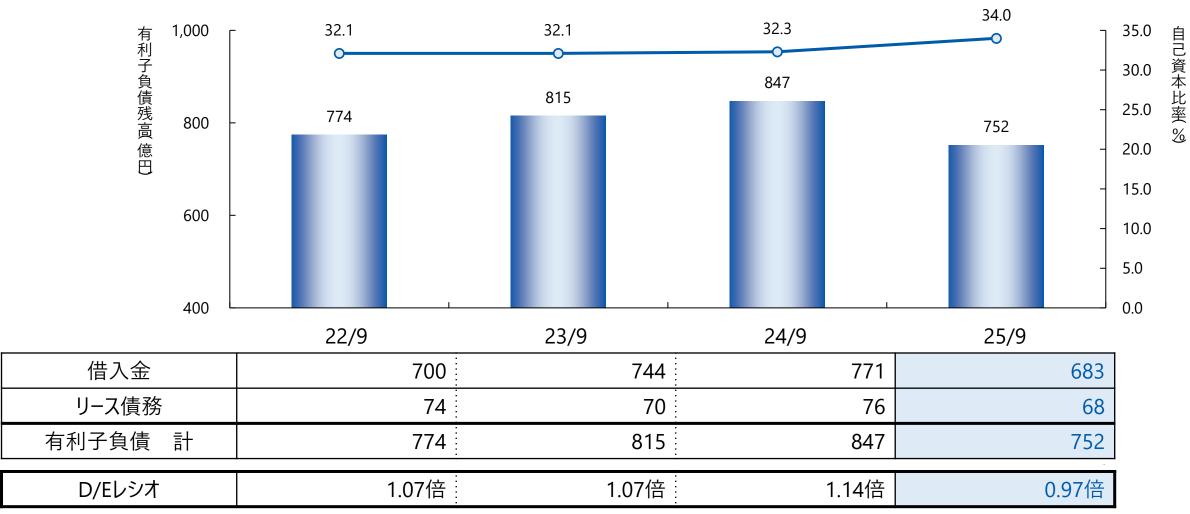
- ・国内販売好調で棚卸資産は大幅圧縮
- · 有利子負債も大幅削減

(単位:億円)	24/9月末	24/12月末	25/9月末	前年 同期比	前期末比		24/9月末	24/12月末	25/9月末	前年 同期比	前期末比
現 預 金	76	82	101	+ 25	+ 19	仕 入 債 務	233	252	257	+ 23	+ 4
売上債権	350	254	403	+ 53	+ 149	有利子負債	847	754	752	△ 94	△ <b>2</b>
棚 卸 資 産	680	669	582	<b>△ 97</b>	△ 86	(借入金)	(771)	(681)	(683)	(△ 87)	(+ 2)
その他流動資産	37	50	43	+ 5	<b>△ 7</b>	未払金	97	102	120	+ 23	+ 18
						その他負債	221	232	252	+ 31	+ 19
流動資産計	1,144	1,056	1,131	<b>△ 13</b>	+ 75	負 債 計	1,399	1,342	1,382	△ 16	+ 39
有形固定資産	814	813	813	△ <b>1</b>	△ 0	純 資 産	741	718	779	+ 37	+ 61
無形固定資産	26	29	32	+ 5	+ 2	純 資 産	741	/10	119	T 31	<b>+ 01</b>
投資その他資産	155	161	184	+ 29	+ 23	(利益剰余金)	(194)	(166)	(205)	(+ 10)	(+ 38)
固定資産計	996	1,005	1,030	+ 34	+ 25						
資 産 合 計	2,141	2,061	2,162	+ 20	+ 100	負債・純資産 計	2,141	2,061	2,162	+ 20	+ 100

# 自己資本比率·有利子負債



・ 有利子負債を削減し、D/Eレシオは1倍を切る



<sup>※</sup>D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

### キャッシュ・フロー



・ 増益と棚卸資産圧縮で営業CFは大幅に改善。固定資産売却でフリーCFは更に改善

(単位:億円)	24/12期	25/12期	前年同期比
(2025年1月1日~2025年9月30日)	3Q実績	3Q実績	13 1 1 3/43/20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 45	50	+ 95
(税金等調整前四半期純利益)	6	62	+ 56
(減価償却費)	40	38	△ 2
(減損損失)	22	0	△ 22
(売上債権の増減額(△は増加))	△ 79	<b>△ 157</b>	△ 77
(棚卸資産の増減額(△は増加))	51	102	+ 50
(仕入債務の増減額(△は減少))	△ 185	8	+ 193
(未払金の増減額 (△は減少))	92	17	△ 75
(その他)	6	<b>△ 21</b>	△ 27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 43	<b>△ 27</b>	+ 16
(有形及び無形固定資産の取得による支出)	△ 43	△ 46	△ 2
(有形及び無形固定資産の売却による収入)	3	18	+ 14
フリーキャッシュ・フロー	△ 89	22	+ 111
財務活動によるキャッシュ・フロー	61	<b>△ 12</b>	△ 74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 24	12	+ 37

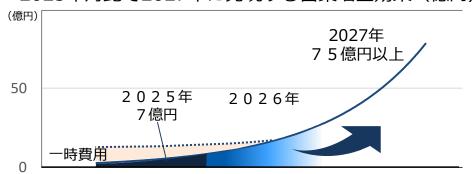
(参考)24/12期
通期実績
88
△ 15
54
23
18
74
△ 169
97
5
△ 58
△ 57
5
29
△ 50
<b>△ 17</b>

### プロジェクトZの進捗



- ・抜本的構造改革の主要施策の進捗状況は概ね計画通り
- ・成長戦略は、海外では欧州の連結子会社間の連携強化を継続、 国内ではNon-Agri販路拡大に向け推進を強化

#### 2023年対比で2027年に発現する営業増益効果(億円)



### 【軸となるテーマ】

#### 2027年に向けた進捗状況

戦略	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩		・「大型」「先端」「畑作」「環境」 次期商品開発推進中 ・草刈事業の展開 新規BtoBルートの開拓 1
成長	成長セグメントに	海外 ■ 地域別戦略の展開	・欧州連結子会社3社連携によるシナジー創出を推進中
革	強靭な 企業体質への変革	<ul><li>■ 人員構成の最適化と人的資本投資</li><li>■ 経費削減</li></ul>	・計画人員数・人件費水準を確保・業務仕分による具体策を実行
構造改	国内営業深化	■ 成長戦略への基盤作り	・ISEKI Japan組織統合による効率化を加速 ・在庫圧縮は <u>計画以上に進捗</u>
本的	開発最適化	<ul><li>■ 開発の効率化</li><li>■ 製品利益率改善</li></ul>	・機種・型式削減は実行フェーズ 計画通り ・25年度効果発現は計画通り。変動費低減活動の遅れを挽回中
抜	生産最適化	■ 生産拠点再編	・国内製造所の建屋新設は計画通り(重信・新潟完成) ・熊本からのコンバイン生産移管作業は計画通り



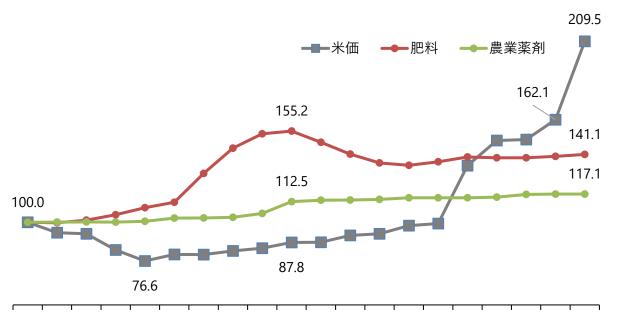
- 1.2025年12月期第2四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

### 国内市場の動向



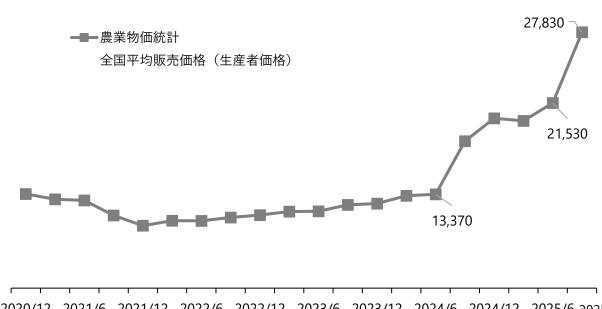
### ■ 米価、生産資材価格の推移

- ・2021年以降の米価下落、生産資材費高騰により購買意欲減退。2024年6月以降、米価上昇を背景に 農家の購買意欲が高まる
- ■農業物価統計 月別価格指数(2020年平均=100)\*
  - ・ 2021年以降生産資材費高騰の中、米価は下落していたが、 2024年後半から米価上昇により資材費高騰を上回る



#### ■米価の推移(円/玄米60Kg)

・ コメ不足等により、2024年後半から米価上昇、 2025年産米の概算金は高値を継続



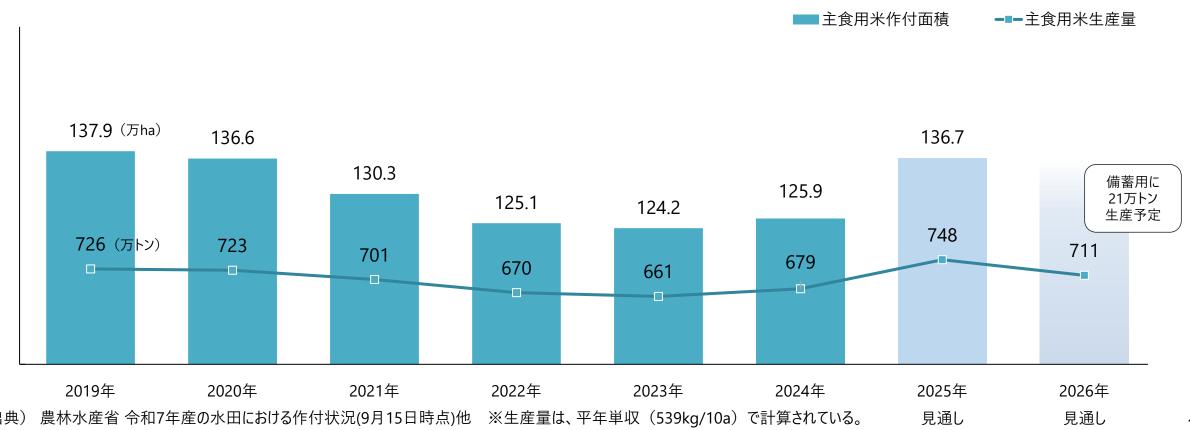
2020年 2021/6 2021/12 2022/6 2022/12 2023/6 2023/12 2024/6 2024/12 2025/6 2025/9 2020/12 2021/6 2021/12 2022/6 2022/12 2023/6 2023/12 2024/6 2024/12 2025/6 2025/9

## 国内市場の動向



### ■ 主食用米作付面積・生産量

- ・ 2025年の主食用米作付意向は全国的に増加し、136.7万ha(前年差 + 10.8万ha)
- ・主食用米生産量※は、2025年に748万トン(対前年69万トン増)となる見込み 2026年は需要に応じた生産で711万トンとなる見通し。ただし、備蓄用に21万トンの生産を求める予定



# 市場の動向・当社の状況(日本・欧州)



### 日本

### 1. 当社の状況(1-9月)

- ・米価上昇を背景とした購買意欲の高まりを捉え、大幅増収
  - 農機製品売上は前年比+22%
  - 契約は売上以上に伸長し、受注残拡大
- ・メンテナンス収入も堅調に増加
- ・施設工事は政府による共同利用施設の再編集約・合理化 支援もあり堅調

### 2. 今後の展開等

- ・好調な需要に合わせた商品提供の推進を図る
- ・農政による食料安定供給に向けた取り組み、 スマート農業へのサポートは継続・強化されることから、 「大型・先端・畑作・環境」をターゲットに成長を図る
- ・成長戦略として、国内草刈市場への展開を進める

### 欧州

### 1. 市場の動向

- ・一部地域では、財政悪化等により自治体への補助金が減少し、 プロ向け市場が弱含む
- ・高温・少雨の影響もあり、草刈り需要は軟調

### 2. 当社の状況(1-9月)、今後の展開等

- ・2025年1-9月当社製品販売台数は前年比+2%
- ・市場は軟調も、フランスにおいて低価格トラクタや電動の仕入商材の販売が堅調に推移、イギリスPTC社連結化効果に加え、 為替円安影響もあり、ドイツの仕入商品特需剥落をカバー
- ・ISEKIドイツ社の強みである冬作業用にカスタマイズした製品による 北欧地域への販売拡大、またISEKIフランス社、PTC社を通じた、 中東地域などへの草刈り商品展開を戦略的に進める

# 市場の動向・当社の状況(北米・アジア)

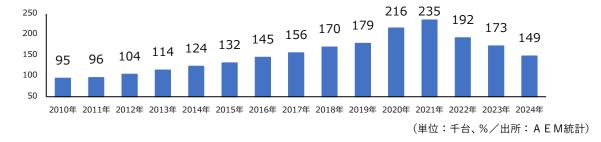


### 北米

### 1. コンパクトトラクタ市場の動向

・年初は前年比10%程度の大幅な落ち込みも、 6月以降減少幅は縮小。回復の兆しは見られるものの、 今後の関税影響による影響に注視

<市場推移> ・2025年1-9月:前年同期比 △5%



### 2. 当社の状況(1-9月)、今後の展開等

- ▶ 販売台数(2025年/1-9月) 前年比 △15% ※現地小売台数
- ・旧型を対象とした販促策により現地在庫を一掃し、 新型の円滑な市場投入による売上の挽回を図る

# アジア

#### 1. 市場の動向

- <韓国>農家減少や高齢化傾向、米価安定に向けた減反・ 転作奨励が加速も、大型・スマート農機へのニーズは継続
- <タイ> 稲作、サトウキビ市場ともに生産作物価格低下、 家計債務問題もあり、農家の購買余力の減退が継続
- <インドネシア> 農業機械化政策により政府・地方入札が増加

### 2. 当社の状況(1-9月)、今後の展開等

- <韓国>現地在庫調整完了により出荷台数増。現地代理店 製品と当社製品の販売シナジーで拡販を狙う
- <タイ> 上期、販促策強化により販売台数増。 4QよりタイIST社からフィリピン向け出荷を計画中

#### <インドネシア>

現地調達率の高さを活かし、インドネシア工場製トラクタで政府入札を落札。品揃え拡充や一般営業も強化を図る



- 1.2025年12月期第2四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

# 2025年12月期 連結業績予想



- ・売上、利益ともに再度上方修正
- ・ 期末配当は1株あたり+10円の増配

		22/12期	23/12期	24/1	2期		25/1	2期		前回予想比	修正後
(単位:億円、%)		実 績	実績	実績	比率	当初予想 (2月)	前回予想 (8月)	今回予想 (11月)	比率	修正額	前年比
売上	. 高	1,666	1,699	1,684	100.0	1,705	1,755	1,810	100.0	+ 55	+ 125
(	 国内)	1,126	1,130	1,130	67.1	1,135	1,200	1,255	69.3	+ 55	+ 124
(	海外)	539	568	553	32.9	570	555	555	30.7	-	+ 1
営業	利益	35	22	19	1.1	26	35	40	2.2	+ 5	+ 20
経常	利益	37	20	15	0.9	18	26	31	1.7	+ 5	+ 15
親会社株主 当 期 純		41	0	△ 30	-	13	18	23	1.3	+ 5	+ 53
*1 為替平均	米ドル	132.7	139.7	15	1.7	150.0 <sup>* 2</sup>	143.0	14	9.0	+ 6.0	<b>△ 2.7</b>
レート(円)	ユーロ	140.7	156.6	164	4.8	157.0	165.0	16	7.0	+ 2.0	+ 2.2
期末配	当(円)	30	30	3	0	30	30	4	0	+ 10	+ 10

<sup>\*1 2025</sup>年から在外子会社のPL換算レートを期中平均レートに変更しています。(従前は各期末レート)

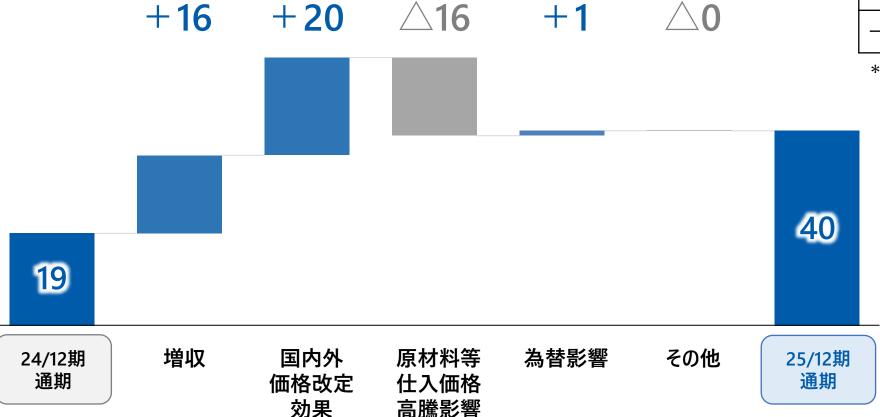
<sup>\*2 5</sup>月予想は当初予想(2025年2月14日公表)から為替レートのみ修正(対ドル:150.0→143.0円、対ユーロ:変更無し)

## 2025年12月期 連結業績予想



### 【営業利益増減内訳(前年同期比: +20億円)】

- ・国内の増収および過年度値上効果で増益
- ・プロジェクトZの当期発現効果は計画通り



### 【プロジェクトス(損益影響、億円)】

営業利益	計画	通期 見込み			
効果	+ 15	+ 15			
一時費用*	△ 8	△ 8			

<sup>\*</sup>生産移管費用、販社統合費用など



- 1.2025年12月期第2四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

# TOPICS:新商品発表会のご案内



- ■「農業の生産性向上」に向けた取り組みを紹介
  - ✓「農業の生産性向上」に向けた取り組み
  - ✓大型商品・スマート農機の展示、実演
  - ✓国内草刈事業 乗用モーア国内展開第2弾 等

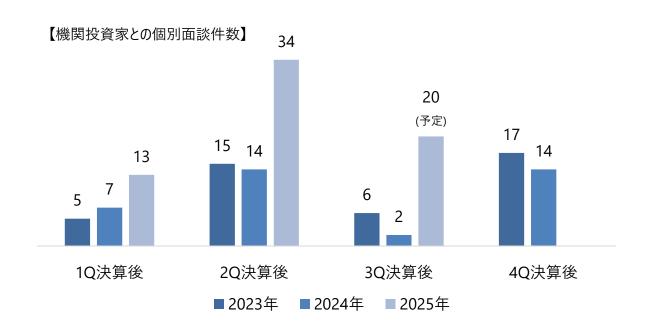
発表 日時	2025年12月11日(木) 13:15~15:00 (予定)
コンセプト	「農業の生産性向上」に向けた農業ソリューションのご紹介
形式	<ul><li>・リアル開催: 茨城県つくばみらい市</li><li>オンラインにて同時配信(実演、展示は除く)</li><li>・ホームページ、メディア発表</li></ul>

### TOPICS:IR活動の強化



### ■機関投資家との対話

- ・米価上昇による業績期待、 2Qまでの業績好調による株価の上昇、 注目度が高まったことで、面談回数は大幅増加 (2025年面談回数目標:50件)
- ・質問は、国内需要の継続性・海外の成長性が中心 ⇒傾向を踏まえ、開示を強化していく

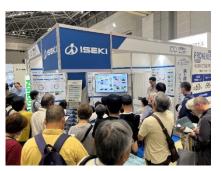


### ■個人投資家との対話

・ 2025年は積極的に対話の機会を拡充

開催日	イベント	
・6月7日	ログミーFinance主催 個人投資家向けIRセミナー	
・9月26、27日	第20回 日経・東証IRフェア2025	
・12月12日(予定)	個人株主様向け施設見学会	

- 各イベントにて、想定を上回る 個人投資家の皆さまにお越しいただき、 当社のアピールが出来た
- ・ 今後はアンケート結果等も踏まえ、 引き続き個人投資家との 対話も強化していく



日経・東証IRフェア2025



- 1.2025年12月期第2四半期 業績の概要
- 2. 国内外市場動向
- 3.2025年12月期 業績予想
- 4. TOPICS
- 5. APPENDIX

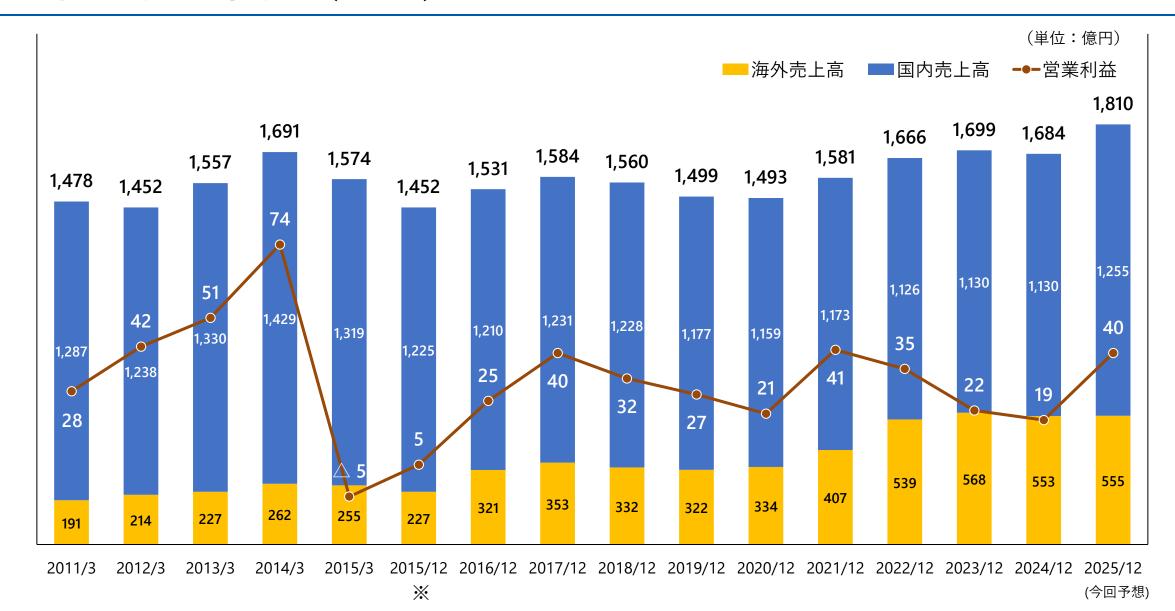
## 会社概要



・社名	井関農機株式会社(ISEKI&CO.,LTD.)
・創立	1926年8月
・本店の所在地	愛媛県松山市馬木町700番地
・資本金	23,344百万円(2024年12月末)
・売上高	168,425百万円(2024年12月期)
・従業員数(連結)	5,292名(2024年12月末)
・事業内容	農業機械・ガーデントラクタの製造・販売,農業用施設,農業関連商品の販売
・グループ	連結子会社14社(2025年9月末)
・工場	国内5拠点,海外1拠点(インドネシア)
・販売網	国内:ISEKI Japan*他系列販売会社、JAグループ、販売代理店等を通じての販売 *2025年1月発足海外:【欧州】ISEKIフランス社,ISEKIドイツ社,PTC社(英国),その他現地販売代理店等を通じての販売【北米】AGCO社へのOEM供給,【中国】東風井関農業機械有限公司による販売,【タイ】IST社を通じての販売,【その他地域】現地販売代理店等を通じての販売
・上場市場	東京証券取引所プライム市場
・証券コード	6310
・発行済株式の総数	22,984,993株(2025年9月末、自己株式111,466株を含む)
・単元株式数	100株

### 連結業績の推移(通期)





※2015/12期は決算期変更のため9ヶ月決算

# 商品・サービス概要



区分		主な商品・サービス		主な販売地域				
	区·万·	土な問品・リービス	日本	アジア	欧州	北米		
製	品	主に当社グループにて開発・生産する製品						
	整地用	トラクタ、乗用草刈機、耕うん機・管理機、乗用管理機など	0	0	0	0		
	栽培用	田植機、野菜移植機など	0	0		-		
	収穫調製用	コンバイン、バインダ、野菜収穫機、   籾すり機、計量選別機など	0	0	_	-		
作	業機	国内・海外作業機メーカー等の商品 (一部井関グループにて開発・生産)	0	一部	一部	_		
補修用部品· 修理収入		補修用部品、修理・メンテナンスなど	0	一部	一部	主に 部品		
その他		施設工事(農業用施設等) 農業用資材(肥料等)、コイン精米事業、炊飯事業、 その他仕入商品(小型草刈機等)など	0	一部	0	_		

### 商品別売上高の内訳



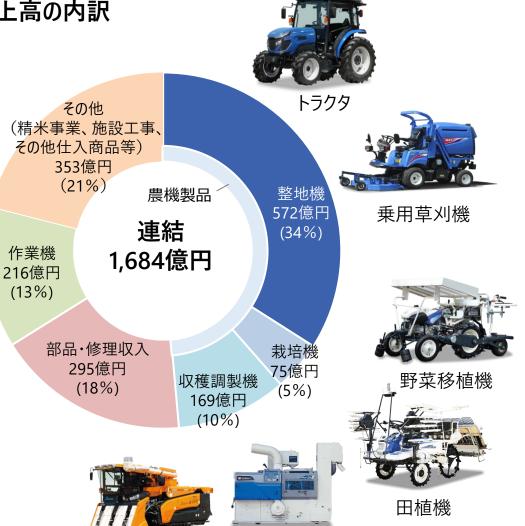




コイン精米機

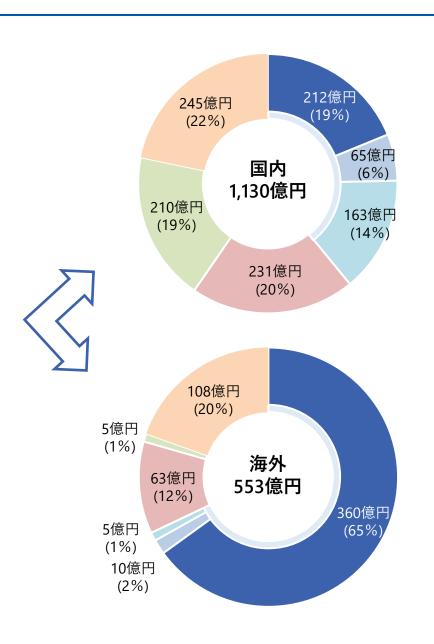


作業機



籾すり機

コンバイン



# 海外地域別売上高の内訳



### 2024年12月期売上高の内訳





アセアン トラクタ



北米

112億円 (20%)

その他 5億円

(1%)

アジア

49億円 (9%)





乗用草刈機 欧州



北米 トラクタ (AGCO社向けOEM供給)

海外 553億円

欧州

385億円 (70%)

乗用草刈機







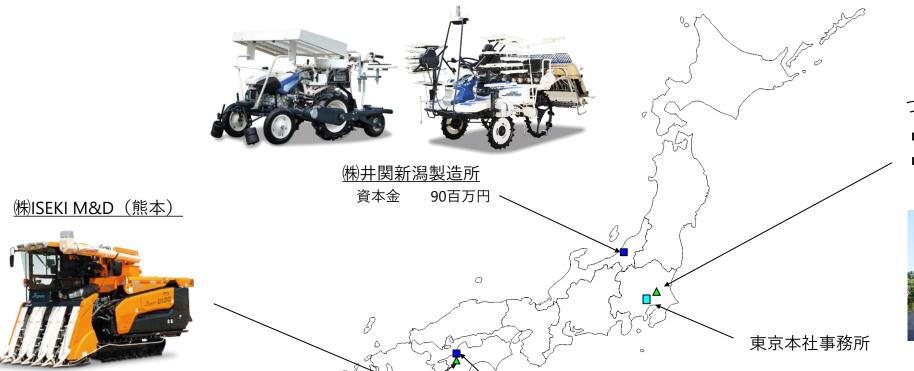




# 国内の主な事業所・製造所



※2025年11月現在



つくばみらい事業所

- 夢ある農業総合研究所
- ISEKIグローバル トレーニングセンター



夢ある農業

井関農機㈱本社

 株 ISEKI M&D (松山)

 資本金
 90百万円

■ ISEKIテクニカル トレーニングセンター

㈱井関重信製作所

㈱井関南吉田製作所(非連結)







## 海外の製造所・活動拠点



(2025年11月現在)







#### ▶海外:主な関係会社・戦略パートナー

[関係会社]

フランス ISEKI France S.A.S. (ISEKIフランス社) ドイツ ISEKI Europe GmbH (ISEKIヨーロッパ社) (※1)

Iseki-Maschinen GmbH (ISEKIドイツ社)

イギリス PREMIUM TURF-CARE LIMITED (PTC社)

タイ IST Farm Machinery Co.,Ltd. (IST社)

インドネシア PT. ISEKI INDONESIA (PT井関インドネシア)◆ 中国 東風井関農業機械有限公司 (東風井関)◆(※1)

[戦略パートナー]

アメリカ AGCOグループ (※2) AGCO Corporation (AGCO社)

インド Tractors and Farm Equipment Ltd. (TAFE社: 業務提携)



◆生産拠点 ※1: 非連結 ※2: OEM供給先

# 当社製品の主な販売経路



国内向け製品 🗘

海外向け製品 🖒

(2025年11月現在)

【連結子会社】 ㈱井関重信製作所㈱井関新潟製造所





当社



北米

欧州

アジア

欧州、アジア他

#### 【連結子会社】 ・ISEKI Japan 他1社

・JAグループ

【国内市場】

·販売店(特約店)



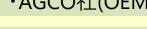
#### 【国内ユーザー】

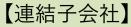
- ·個人農家
- ・農業法人 他

(井関農機)

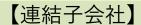
### 【海外市場】

·AGCO社(OEM)





- ・ISEKIフランス社
- ・ISEKIドイツ社
- ·PTC社(英国)



- ・IST社(タイ)
- •各国輸入代理店



### 【海外ユーザー】

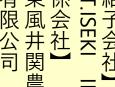
北 米:個人(ガーデン用等) 他

欧州:景観整備事業者

個人(ガーデン用等) 他

アジア:個人(農業用)

農業法人 他



有限公司(中国)東風井関農業機械

他

**INDONESIA** 







### グローバル展開:欧州



(2025年11月現在)

### 「住みよい清潔な街づくり」に貢献

- ✓ 1960年代にビジネスをスタート。以降、欧州全域に販売エリアを拡大し、 ISEKIブランドを確立、欧州の街づくりに貢献しています
- ✓ 主に自治体から請け負う景観整備業者を中心に、エッセンシャルビジネスである 公園の草刈りや道路清掃、除雪作業に使われる小型で高性能なトラクタ、 乗用草刈機を提供しています
- ✓ 2025年からはイギリスのプレミアムターフケア社(PTC社)を連結子会社化。欧州子会社内での連携を強化し、購買・調達などの一元化やコンポーネントの共通化でシナジーを発揮し、欧州事業の更なる拡大を目指します

#### ■取り扱い商品

区分	主な内容	主なユーザー
製品(Non-Agri) (主に整地用)	(主に景観整備用) コンパクトトラクタ、 乗用草刈機、耕うん機など	景観整備業者、 小規模農家、 ホビーファーマー
その他商品	作業機*・部品など	

\*当社製品とシナジー効果の高い、電動・ガソリンタイプの草刈商品等を仕入・販売

#### ■主な販売ルート

フランス : ISEKIフランス社 (連結子会社)

ドイツ : ISEKIドイツ社 (連結子会社)

イギリス : PTC社 (連結子会社) ベルギー・オランダ: バンデハーゲ社

その他各国代理店を通じての販売等













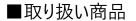
### グローバル展開:北米



(2025年11月現在)

### 「プライベートな生活充実」へ貢献

- ✓ 農業機械のグローバルメジャーメーカーであるAGCO社をビジネスパートナーに、 同社のMassey Fergusonブランドの製品をOEM供給しています
- ✓ プライベートユーザーを中心に軽土木作業や庭の整備、寒冷地での除雪作業等 のさまざまな用途で使用されており、現地ユーザーからも高く評価されています
- ✓ コンパクトトラクタの需要はここ10年で急速に拡大しており、特にコロナ禍においては郊外移住等のライフスタイルの変化に伴う需要が旺盛となりました。2022年以降は調整局面に入るも、依然として大きな市場規模となっています



区分	主な内容	主なユーザー
製品 (Non-Agri) (主に整地用)	コンパクト・サブコンパク トトラクタなど	農家 ホビーファーマー 景観整備、軽土木業者
その他商品	作業機・部品など	

#### ■主な販売ルート

アメリカ・カナダ:AGCO Corporation (AGCO社:OEM供給)







#### ~商品供給の歴史~

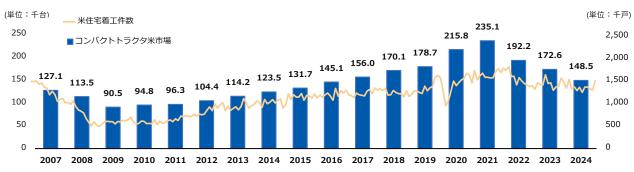
・1977年~ トラクタ輸出開始 (FMC社: OEM)

・1991年~ MF(Massey Ferguson)社へ

OEM供給

・1994年~ AGCO社へOEM供給開始

#### ■北米コンパクトトラクタ市場と住宅着工件数の推移



## グローバル展開:アジア



(2025年11月現在)

### 「農業生産者の負担軽減、食料生産」に貢献

アセアン、東アジア(韓国・台湾)、中国の各市場において、日本で培った稲作関連機械を中心に展開しています

- ✓ アセアンでは、連結子会社であるIST社を核として、周辺国への販売・サービス展開を しています。主に農業用に利用され、トラクタに加え、稲作関連の田植機、コンバイン等も 提供しています
- ✓ 東アジアでは、先端技術や大型農機のニーズが高まっており、日本で活躍する大型で高性能な稲作農機(トラクタ、田植機、コンバイン等)を現地販売代理店を通じて、ISEKI ブランドで提供しています
- ✓ 中国では、稲作関連機械をISEKIブランドに加え、現地ブランドでも展開し、よりニーズに合わせた商品構成としています





#### ■取り扱い商品・主な販売ルート

国・地域	区分		区分主な内容		販売ルート	
アセアン	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機(歩行・乗用) 汎用コンバイン 等	農家 コントラクター	タイ:IST社(連結子会社) *IST Farm Machinery Co.,Ltd.	
	その他商品		作業機・部品など			
東アジア (韓国・台湾)	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ、乗用管理機 田植機、野菜移植機 自脱型コンバイン 等	農家 コントラクター	現地販売代理店	
中国	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機(歩行・乗用) コンバイン(自脱型・汎用型) 等	農家 コントラクター	東風井関(非連結) *東風井関農業機械有限公司	

## 知的財産について



当社の特許の分野別登録数や高い特許査定率は、新技術の開発・投入・実用化に積極的に取り組んできた証です

#### 1.特許の日本における分野別登録数

### 「その他特殊機械分野」 第2位

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
分野	その他の特殊機械							
順位	1位	2位	1位			2位		

### 2.特許査定率

### 「全産業中」 第3位

年	2017	2018	2019	2020	202 1	2022	2023	2024
特許査定率	98.1%	96.4%	97.7%	98.7%	97.2%	94.6%	92.2%	96.7%
順位	1位	2位	1位		3位	-	3位	

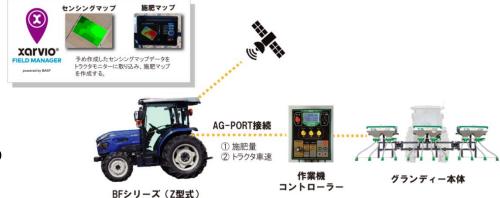
※特許査定率=特許査定件数/(特許査定件数+拒絶査定件数+取下·放棄件数)、取下·放棄件数=拒絶理由通知後に取下げまたは放棄した件数

## 環境保全型農業への取り組み



### ■直進アシスト機能搭載トラクタが「みどり投資促進税制\*」の対象機械に認定

- ・「直進アシスト機能搭載トラクタ (BFシリーズ Z型)」が みどり投資促進税制の対象機械に認定 (高精度ソワーグランディ(株式会社タイショー)との組み合わせで認定)
- ・対象機械を導入する農業生産者の方は、取得価格の32%に ついて特別償却の適用が可能となる税制優遇を受けることができる



#### ■商品情報·特長

対象機械	商品概要•特長
直進アシスト機能搭載トラクタ +高精度ソワーグランディ	・トラクタBFは無段変速機構を搭載しており、作業中でも素早く作業に応じた適切な車速を選ぶことができます。 ・高精度ソワーグランディはトラクタBFからの施肥量と車速の情報により、可変施肥作業と同時に車速連動での 施肥作業も実現いたします。最大散布幅は5.1m、300Lの大容量ホッパーを装備しています。

<sup>\*2022</sup>年に「可変施肥田植機」、2025年4月には「乗用管理機と高精度畑用中耕防草機」が同制度の対象機械として認定済

### ■アイガモロボが環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」の対象機械に認定

- ・「アイガモロボ(IGAM2)」が、農業機械の電動化促進を目的とした、 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の対象機械に認定
- ・対象機械を導入する農業生産者の方は、電動農機の販売価格と対応する 従来型の農業機械の販売価格の差額の3分の2を受けとることができる



## 将来の見通しに関する記述についての注意



- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が 含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、 当社は責任を負いません



